

名古屋市のこれまでの主な歴史

西暦	動き
1889	市制施行、名古屋市に
1907	熱田町を編入
1908	人口、面積の増加により、東、西、中、南の4区制に
1937	隣接3町村を編入、新たに千種、中村、昭和、熱田、中川、港の6区を増やし10区制に
1944	北、栄、瑞穂の3区を増やし、13区制に
1945	戦後、栄区を廃止して中区に合併、12区制に
1955	猪高村、天白村、楠村、山田村、富田村、南陽町を編入
1963	守山市を編入して守山区に、鳴海町を編入して南区に。14区制に
1964	有松町、大高町を編入
1975	千種区から名東区を、昭和区から天白区を分區、現在の16区制に

名古屋の4区100歳

東区・中区・西区・南区

1日に開かれた西区の催しには約200人が参加。区内

10歳と100歳祝う

名古屋市は、1889年に市になった。合併して人口や面積が増えたため、最初の4区を設置した。4区になった1908年は、日露戦争が終わって3年後だった。この2年後には、現在の松坂屋が市内初のデパートとしてオープンした。その後も、周辺市町村を編入して区の数が増え、75年に現在の16区になった。

多彩な記念イベント企画

1908(明治41)年、名古屋市に最初の四つの区ができてから、1日で100周年を迎えた。4区は東区、中区、西区、南区で、それぞれ多彩な記念イベントを企画している。西区役所では「区制100歳おめでとうにし区」と題した催しがあり、区内の10歳の児童と1908生まれの高齢者が、一緒に100周年を祝った。中区では、区民ら約650人の笑顔とメッセージが展示された。



タイムカプセルにメッセージを入れる子どもたち＝西区役所

にある榎小学校と城西小学校の新生5年生計20人が、10年後の自分に向けたメッセージを銀色のタイムカプセルに入れた。5年生の一人は「20歳になったら、区制が始まったのと同じ年に生まれた3人には、100周年を記念して作られて見るのが楽しみ」と話していた。

650人の笑顔展示

今年100周年を迎えた四つの区では、4月下旬に記念式典やイベントを開くほか、記念誌を発行する。中区では、区役所1階ロビーに区民や中区を訪れた約650人の笑顔とメッセージを5月6日まで展示している。区内の名古屋テレビ塔や百貨店、商店街でも一部を掲示するほか、区の木であるイチヨウの記念植樹が4月13日、白川公園である。東区では、コンサートやスポーツ教室を予定。南区では、区の歴史に関する講演会が5月25日にある。



2008年(平成20年)
4月2日
水曜日